

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970101329
法人名	(株)アイ・エム・シー
事業所名	グループホームくろしお札幌ハウス
訪問調査日	平成 19 年 9 月 12 日
評価確定日	平成 20 年 1 月 23 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970101329
法人名	(株)アイ・エム・シー
事業所名	グループホームくろしお札幌ハウス
所在地 (電話番号)	高知市札幌東九頭38番地 (電話) 088-880-3360

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月12日	評価確定日	平成20年1月23日

## 【情報提供票より】(19年 8月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤 19人, 非常勤 4人, 常勤換算	20.8人

### (2) 建物概要

建物形態	併設 / ■単独	■新築 / 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	29,000 円	
敷 金	有( 円) ■無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) ■無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名
要介護1	6 名	要介護2	9 名		
要介護3	8 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ネクストホームクリニック
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

清潔でゆったりとした造りの事業所である。事業所の周辺にはコンビニや病院が立地し、地域住民は転勤者が多く、地域との繋がりが持ちにくい特性があるが、管理者と職員が、地域の一人として少しでも地域と係わりを持つよう考え努力している。また管理者と職員は、良いチームワークで、利用者本位のサービスを提供しており、利用者には笑顔があり、居室は馴染みのものや好みのものが置かれ生活の場として居心地良く、利用者にとって事業所が自分の家になっているように感じる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 改善課題であった一人ひとりの過去の経験を生かしたケアを提供するために、利用者、家族から聞き取り、生活歴や心身の状況等を記録し、積み重ねていくように取り組んでいる。注意の必要な物品の管理については評価後にすぐ改善した。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、各ユニットで職員が話し合い作成し、最終的にはユニットの代表者で話し合いまとめている。経営者、管理者、職員全員が、今回の自己評価を日頃のサービス提供や事業所のあり方の見直しの良い機会と捉え、サービスの質の向上を図るために取り組むなど、評価の意義を十分理解している。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議のメンバーは、利用者、家族、地域代表、支援センター、職員で構成され、2ヵ月に1回開催。地域に町内会組織が無いので、地域代表として民生委員等の参加を検討されたい。内容としては、事業所の運営状況、取り組み、外部評価等の事業所側からの報告が主である。双方からの意見が出るような運営が望まれる。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見や苦情については、来訪時に聞き取りをしているが苦情はない。事業所側から、苦情となるような原因を探り出す努力をしている。家族会をユニット毎に作っており、事業所からイベントを利用したり手紙で呼びかけ実施しているが、開催状況は各ユニットで異なり、家族会からの意見もあり出ない。今後も事業所側からの働きかけが求められる。家族には利用者の状況を月1回手紙で知らせる他、2ヵ月に1回事業所便りを発行し、また来訪時には話し合う機会を持つようにしている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域には病院、コンビニ、住民は転勤者が多く、町内会の組織がない。住民とのつながりが難しい地域特性があるが、地域交流委員会を設け、地元の人に事業所が開催する行事への参加を呼びかけたり、公園での散歩でふれあいをもったり、清掃活動等地域との接点を持つ努力をしている。また3ヵ月に1回地域向けの新聞を作成し、地域住民、保育園、小学校等に配布している。今後、民生委員等にも働きかけ、地域に入りやすいように情報を集めるなどの取り組みを期待する。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容であ 〔地域との交流を大切にしている内容が盛り込まれている。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔朝礼、月1回開催するユニット会で話し合っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映さ れている。 〔日々利用者とは接する時は、ゆったりと安心できるように言葉かけや態度に気をつけている。月1回のユニット会では利用者の状況、様子を理念に基づいて報告している。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔町内会があれば加入するが、町内会の組織が無い。〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接 点を持つ努力をしている。 〔事業所の職員で地域交流委員会を設け、事業所が開催する夏祭りに参加してもら うように地域住民に呼びかけたり、月1回職員と利用者が事業所周辺を清掃して地 域にアピールするよう努めている。〕	○	今後、民生委員等にも働きかけ、情 報を集めるなどの取り組みを期待 する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理 者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔自己評価は、各ユニットで職員が話し合い作成し、ユニットの代表者で話し合いま とめている。経営者、管理者、職員全員が評価の意義を十分理解し取り組んでい る。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔運営推進会議のメンバーは、利用者、家族、地域代表(近所の方)、支援センター、職員で構成され、2か月に1回開催している。事業所の現状等を報告している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔会議で、評価の課題と改善の取組みを報告している。〕	○	双方からの意見が出るような運営の工夫が望まれる。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  〔運営推進会議以外には、担当課新人職員が事業所を見学することがある程度で交流は少ない。〕	○	運営推進会議により行政との係わりが持てるようになったが、会議以外の交流が少ない。市町村の担当者には事業所側から事業所の現状や取り組みを伝えるなどの働きかけを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔来訪時には、声掛けし話し合う機会を持つようにしている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔月1回一人ひとりの様子を手紙で知らせ、2か月に1回各ユニットで事業所の様子を知らせる新聞を発行している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔変化や問題が起きたときは報告し、些細なことでも伝えている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔原則として事業所で金銭を預かり、来訪時に領収証を家族に渡している。県外等で来訪できない家族には郵送している。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会を作っているが、開催回数等は各ユニットで異なるが、事業所からイベントを利用したり手紙で呼びかけたりと機会があるたびに働きかけている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔苦情は無いが、事業所側からも苦情となるような原因を探り出す努力をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔利用者の状況を見ながら、引き継ぎ期間を十分取ったり、周りの職員がカバーしている。家族には、来所時や通信で知らせている。〕	○	会社の方針で職員の勉強のために年1回の異動が行われたり、人員配置等の問題でやむを得ない場合もあるが、利用者や馴染みの関係をつくるため、異動については配慮を望む。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔会社負担で研修に参加することができ、職員から研修を受けたいと相談もある。研修計画を立て、月1回職場内研修も実施している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修したことを報告して、報告書をファイルに整理している。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔会社内の3つの事業所が月1回計画を立て、同業者の見学の受け入れや、取り組みを研修している。〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔相談は管理者が受け、面接は管理者と職員が行っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔一緒に生活する中で、利用者の残存能力を大切にしながら、利用者が出来ることはできるだけ役割を担ってもらっている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔男性利用者で電気の故障をすぐ直してもらったり、料理の準備や配膳、畑仕事など、利用者が持っている力を奪わないように場面作りをしている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔利用者を人生の先輩として尊敬し、調理の技や文化を教えてもらっている。〕		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔家族との話し合いから情報を得るように努めている。それが困難な場合は、職員間で利用者本位の希望は何か検討している。〕		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔家族と話し合い、希望を聞いている。県外在住、面会の少ない家族の気持ちを聞くことが出来るようにさらに工夫したいと考えている。かかりつけ医に受診した際の意見をプランに入れている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔月1回カンファレンスを開催。アセスメントは担当制を取っているが、プランは各ユニットごとに職員全員で評価し、意見を出し合い介護計画を作成している。〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔3か月に1回見直している。状態が落ち着かれている方1人は6か月に1回の見直し。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔見直し期間以前でも、本人の状態に合わせて見直し、新たな計画を作成している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔協力医療機関の24時間対応の往診と訪問看護により、突発的な場合でも安心して生活が継続できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔現在該当者はいないが、家族の要望もあり、利用者にはできるだけ事業所で看る仕組みがある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔 〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔できるだけかかりつけ医への受診を支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔 〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔対応方針に同意書をもらっている。終末期には、協力医療機関の医師、看護師、家族と管理者が話し合いを行うようにしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔現在該当者はいないが、最期まで事業所の生活を望む家族は多い。安心して最期を迎えられるように対応方針を定めている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔理念に基づいて、尊厳を持って利用者に接するようにしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔ユニット管理者から職員に個人情報の保護について話し、徹底して気をつけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者の状況に合わせて散歩したり、買物の希望があればスーパーに出かけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔事業所としての最低限必要な業務スケジュールはあるが、特に決まりは作っていない。今日はどうしようかと融通できる対応をしている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔利用者が出来ることを大切に、一緒に食事の準備や盛り付け、配膳、後片付けをしている。献立は、食材を仕入れている業者の栄養士が作っているが、利用者の希望で好きなものを作る時もある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員は、利用者と同じテーブルを囲み、利用者と同じものを食べながら介助の必要な利用者には介助している。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔入浴時間は夕方からだが、希望があればいつでも対応可能で利用者の希望に合わせて入浴している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔花が好きで2週間に1回生花教室に通う方や、ハーモニカを楽しむ方、新聞を熱心に読まれる方など、一人ひとりの楽しみ方を出来るだけ把握し支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔金魚の世話や食事の支度、駐車場を畑に作り替え農作業をしたり、利用者の経験やできる力を生かす場面を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔電気関係に従事していた利用者が電気の故障を修理したり、食事の支度や洗濯などの家事、生花等、利用者一人ひとりの力を活かした役割を作り支援している。〕		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔シルバーカーや車椅子を利用して、外へ出るようにしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔喫茶店でのコーヒーを利用者は喜ばれ、また外食やドライブにも出かけている。1ユニットの定員が乗れる車が2台あるので、交替で使用している。〕		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔鍵は掛けていない。利用者一人で外に出られないように、目配り、見守りをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔徘徊や外出の傾向は把握しており、利用者の気持ちに沿って無理に止めるようなことはせずに対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔地域の住民は殆ど転勤者で協力してもらうことが難しい。最近新しく出来た公園に利用者が散歩に出かけ、地域の子供たちや住民と係わりが持てるように努めている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年2回の訓練、夜間の訓練も設定して実施している。地域住民の参加、協力は、転勤者が多く繋がりを持つことが難しくできていない。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器等の設備点検は、業者に発注して定期的の実施している。非常用食料、備品は準備できていない。〕	○	人の転入転出が多い地域で、地域住民との繋がり、協力が得られにくい環境だが、災害時には事業所のみでは安全の確保は難しく、地域の協力が必要となる。民生委員等と相談するなど取り組みを期待する。また、非常用食料・備品は、日頃からの準備が求められるので早急に対処することを望む。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔一人ひとり個別の状況チェック表で把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔外注(食材仕入れ業者)の栄養士が献立しているが、利用者からの希望を取り入れ寿司などを作ることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔外注の栄養士がチェックしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔ゆったりと清潔な共用空間で、使いやすいように家具を配置している。各ユニットで雰囲気は異なるが、人形など馴染みのものが取り入れられ居心地良い空間になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔各部屋の廊下に面した飾り棚には、季節の花や壁掛けを置いてあり優しい空間をつくっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節の花が活けられ、金魚や亀の水槽が置かれ癒されたり、懐かしい音楽が流れるなど季節感や五感に配慮している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔愛読書や写真、馴染みの家具を持ち込み、利用者にとって居心地の良い空間を作っている。電話を自分の部屋に引いてる利用者もいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔		